

さわらび

2019. 11. 11 No. 20 文責：大塚

「中央区音楽祭」と「保小中合同学習発表会」



2日続けての発表会。他の行事や作品づくりのしめ切りにも追われながら準備練習をして発表しました。11月8日(金)は、中央区音楽祭でした。今年度は、同じ音楽の先生に習っている4校(藤岡中、大川筋中、後川中、大用中)の生徒全員での発表となりました。

事前の練習では、学校ごとの練習と、藤岡中へ集まったの合同練習(大用中と2校で1回、4校で1回)を行ってきました。緊張感を持ちつつ頑張って発表しました。

翌日、11月9日(土)は、「第22回保小中合同学習発表会」でした。わらだけノビノビ会の主催として地域とともにある発表会です。今年も、保・小・中それぞれの学習の成果が発表されました。



■標語の表彰と人権作文発表。人権作文発表は、花奈さんが堂々と自分の思いを述べました。

また、この日の会場では藤岡小学校の児童が田植え・稲刈りをしたうるち米ともち米が販売され、子どもたちの「いらっしゃいませ」「お米はいかがですか」の声が響いていました。(途中の休憩時間には完売しました。)



皆様ご存じの通り、稲作は植えて刈るだけではありません。この田んぼは、前PTA会長の岡崎壮志さんが、いつも気にかけて子どもたちができない作業をずっと続けてくださっています。このような保護者・地域の皆様の関わりには、保・小・中ともに本当に感謝しております。



■作品の展示もしました。中学校は、活動の様子の写真、習字、水彩画、家庭科の作品等々を並べましたが、皆様に楽しんで見ていただけたようです。

中学校の発表は花奈さんの人権作文以外では、リコーダー演奏「あの日の川へ」「職場体験学習の報告」「『閉校記念誌』作成のための卒業生インタビュー」の3つでした。リコーダー演奏は、前日の中央区音楽祭で行ったものです。



■職場体験学習の報告

10/1, 2に行った職場体験学習について、2年生3人が発表しました。「自分の苦手なことを克服したいからこの職場にした」等の意味づけのしっかりした体験

だったことが伝わりました。また、各職場の方から仕事についてや将来の職業選択について聞いたことで、「好きなことを仕事にしてほしい」「好きなことならしんどいことも乗り越えられる」などのメッセージをいただき、各自が自分の将来について深く考えるきっかけとなったことも伝わる発表でした。



■『『閉校記念誌』作成のための卒業生インタビュー』

藤岡中では、来年度に向けて『閉校記念誌』作成のための卒業生インタビューを行っています。7月に行った第1回のことを劇にまとめて発表しました。



インタビューしたときの各年代の卒業生の皆さんが、とても和気あいあい楽しそうだった雰囲気を出そうと頑張りました。最後に花奈さんから、卒業生から聞き取った「藤岡が好き」という思いを自分につなげての言葉と第2回インタビューのお知らせで締めくくりました。



【生徒の生活日誌から】

今日、学習発表会がありました。とても緊張していたけど、みんなが笑って聞いてくれたみたいだったので、よかったです。帰宅すると家族から「よかったよ。がんばったね。みんなほめてくれよかった。」と言ってもらって、さらにうれしくなりました。

【来ていただいた保護者・地域の皆様の感想から】

- 保小中すべての子どもたちが真剣に取り組んでいることにとっても感動しました。中学生は少ない人数で力を合わせて発表する姿にとってもうれしく、楽しくも思いました。最後の最後まですべてよかったです。
- 多くの地域の方に参加いただき、あたたかい発表会でした。
- 今日は素晴らしい発表会を見せていただきありがとうございました。中学生4人の素晴らしい発表に感動しました。感謝・感激しました。
- 中学生の体験学習の報告は大変よかったです。
- 保育所、小学校、中学校の取り組み、大変素晴らしく、どの発表も感動させられた内容でした。保育所や小学校、中学校とのかかわりがなくなっている人たちにも、ぜひ子どもたちの姿を見せてあげたいと思いました。元気をいただきました。ありがとうございました。

